西山地区
コミュニティ協議会だより
【(西風) 平成 27 年度 11 月号】
発行：西山地区コミュニティ協議会
会長　宮野藏郎
平成 27 年 11 月 9 日発行
薩摩川内市下甑町瀬々野浦 1194
TEL　09969-5-0122
FAX　09969-5-0355

これからの行事（11 月の行事）

8 日　国民文化祭
10 日　大帯姫神社秋季大祭
12 日　助八古道三者連絡会議
14 日　消防訓練　コミセン　14：00～
16 日　戦没者慰霊法要･西浄寺 10：00～
17 日　サロン教室　13：15～
18 日　手打・青瀬トンネル防災訓練
28 日　六次産業化基礎講習会ｉｎ甑島
　　下甑支所　9：30～12：00
30 日　にこにこ教室　14:00～16：00

旧西山小学校草刈奉仕作業

10 月 24 日、旧西山小学校の草刈奉仕作業が行われた。

本年度 2 回目となるこの作業に 36 名の方々が元気に参加され、地区の皆様の学校にかける意気込みが強く感じられた。

10 月とはいえ大変暑い日でしたが、熱中症の心配もなく、グランド整備もやりたそうな人もおられたが、今回は校庭・裏庭・裏庭の傾斜面の作業となった。

参加者の皆様ご苦労様でした。

小学校草刈の日に校庭裏庭に咲いていた花。

ご存知の方おられますか。ザゼンソウか水芭蕉のような花ですが、葉っぱと茎が巨大です。

アクアスロン参加者助八古道へ

去る 10 月 17 日アクアスロンに参加された人のうち、11 名が助八古道を歩かれた。

案内人は元郵便配達員の下江哲夫さん（青瀬）と宮野桂さん（西山）。

さすがアスリートの皆さん、足腰のほうは強く完歩されましたが、日常と違う景色や植生等に興味を示されたようです。マッチョ杉やパックン石の名前付けに感心されていたそうです。そのため所要時間がオーバーとなり長浜での餅投げなどの行事には間にあわなかったようです。

助八古道の植物群をいつか一冊の冊子にまとめたいのですが誰か得意な人はおられないでしょうか。ご協力をお願いいたします。

【写真上：オオヘゴ、　写真下：パックン石】

スーパームーンと江川河口

去る9月28日7時58分の江川河口です。世のマスコミがこぞってスーパームーンを報道している最中、当瀬々野浦でも通常と違う現象が出現しました。海水は江尻橋を超えて上がってきました。

月が地球に接近した為潮汐に変化が出たのでしょうか。これ位の河口の状態ならスズキが簡単に産卵にやってこられそう。

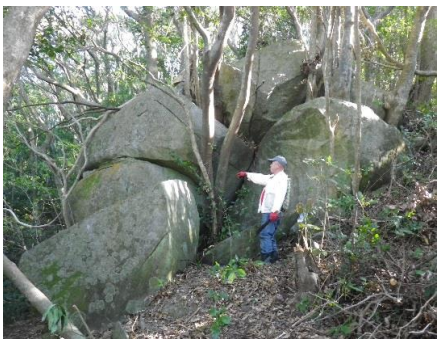
尾岳から見る鹿島・上甑方面

去る10月2～4日、助八古道開拓で強力な助人振りを発揮した鹿児島大学生・同OG4名が個人的な旅行で下甑を訪れた。甑にかかわった人たちがリピーターで下・上甑を訪れることは珍しくない

今回は助八以外の場所も案内した。ますます甑に興味を持ってくれたようでした。尾岳は甑島ナンバーワンの高さ（604メートル）で一等三角点があります。

シリーズ「瀬々野浦の石」13

どんべ神

車社会となり、薪もいらなくなった現在、忘れ去られようとしている石（かみという）を再び探し出した。西山から出発して長浜と内川内への分岐点を少し進んだところ。

再発見者は山下峯生さんと中村徹さん。場所は尾根筋で北側は急峻に切れ込んだ崖、南側はなだらかだが、少し下は急峻な崖である。北側の崖下には「リュウビンタイ」の群落が見られる。この神を「これが何の神か」と馬鹿にして通った婦人は眼病を病み、山師の二人のうち一人は石をたたいたヨキで脛を大怪我し、もう一人は倒木で頭をシコタマ打ち頭の皮がずるむけになったという話が伝わっている。この尾根筋を上ればエゴに到達するような感じの位置である。上から下がった方（長浜道）からが近いように思う。テープでマーキングしてある。一度たずねてはいかが。どんべ＝ヘソ